

望月昇 [会派長]

文教民生委員会委員長／議会運営委員会委員／消防委員会委員／スポーツ推進委員会委員／景観審議会委員／青少年問題協議会委員

★地理的優位性と港湾機能の強化

昨年11月7日国会において「台湾有事は〈存続危機〉になり得る」と高市首相が答弁した事に、台湾海峡を巡る緊張が日本の安全保障環境に重大な影響を及ぼす可能性があることが議論されました。

小笠原諸島南鳥島沖深海6,000メートルから地球深部探査船「ちきゅう」がレアアース泥の試験採掘に成功しました。

5～6年後には個々のレアアースも商業化できるそうです。政府の挺入れで値段を抑えて多数の企業に供給し、GDPを底上げする必要があります。日本にとって、資源の安定確保は国家の競争力を左右する重要なテーマです。



館山は太平洋につきんでた海の表玄関です。海上自衛隊のある館山の良港を整備してレアアースの商業港として、風光明媚、安心安全な観光拠点としても磨きをかけ、発展させていくべきです。

この様に館山が地政学上における重要な自治体であることを再確認し、もっとアピールしたいところです。これからも市議会議員として、館山市、市民の為、豊かで住みやすい安心安全な自治体の創造の為に働きます。

倉田孝浩

館山市議会副議長／広報広聴委員会委員長／建設経済委員会委員

★副議長としての重責

令和7年度は副議長という重責を拝命致しました。市議会の運営に関わり、円滑な議事進行や議事整理に携わりながら、役所対応や様々な会合、各地への出張など公務は多岐にわたりました。

時間的な負担も小さくはありませんでしたが、市政を支える立場の責任を実感する日々。特に議長と共に他の市町村を訪問し、議会運営や地域課題について意見交換するなど多くの学びを得ることができました。

今年度の視察を含め他の自治体の取り組みを知ることで視野が広がり、館山市の課題を改めて見つめ直す機会となりました。

新校舎に移転となった館山中学校の生徒や北条小学校の児童の登下校の見守りと共にビーチクリーンも続けて行きます。



鈴木正一

館山市議会議長
安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員／総務委員会委員

★新しい年度に向けて



館山市議会議長として10ヶ月が経過しました。

今年は午年です。館山に生まれて、育ち、学び、働き、住んでよかった若者がと実感できるようにするために、何が出来るか、何が必要なのか真剣に考えることが未来につながるのではないのでしょうか。

一次産業（農業、漁業）も担い手の高齢化進んでいます。今後の担い手の確保は、なかなか解決策が見えない難しい問題ですが、生産者と交流を進めて一緒に考えていく必要があると思います。

少子高齢化が進む中、地域住民が企画提案して、行政と一緒に地域の仕組みを作っていく必要があります。産業、観光に関しても、もう一度何をすべきなのか真剣に考えていかなければなりません。学校統合が進むと、空き教室等も増えてきます。空き教室を利用した企業誘致も積極的に考えていかなければなりません。

議会としては、一般通告のなかで良い提案があれば、積極的に論議して、実現してまいります。これまで積み重ねてきた、福祉、スポーツ振興、地域づくり、農業等の取り組みは、今後も積極的に進めていきます。

鈴木ひとみ

総務委員会委員長／広報広聴委員会委員／議会改革特別委員会委員／総合計画審議会委員／環境審議会委員／子ども子育て会議委員／地域公共交通検討委員会委員／三芳水道企業団議会議員

★関わりを力に

昨年のおみそかの夜、安房相撲クラブの土俵をタレントのヒロミさんが3か月かけてリフォームするという特別番組が生放送を交えて放送されました。

館山市のポテンシャルの高さを多くの方が指摘し、関わってくださっています。昨年は、資生堂創業者「福原有信」の出身地であることにちなみ、若潮マラソンへの資生堂の協賛、館山市立博物館の企画展「福原有信と館山」、SHISEIDO BLUE PROJECT 館山ビーチクリーン、福原コーポレーションとの包括連携協定締結と市民グラウンド、出野尾多目的広場のネーミングライツ協力など様々な連携事業を行うことができました。

館山市に商機ありと「ドン・キホーテ」や「ベイシア」が進出してきました。マリンスポーツなどにリピーターとして何度も訪れる人々、二拠点居住や移住に踏み切る人たちなど、様々な人たちが関わりを深めています。

これまで築かれてきた関係性を更に強く、高いと評価される館山市のポテンシャルをどう活かして暮らしやすいまちづくりにつなげていくか、皆様と考えていきたいと思っています。



石井信重

議会改革特別委員会委員長／議会運営委員会副委員長／建設経済委員会委員／消防委員会委員／下水道事業審議会委員／国民保護協議会委員／観光事業審議会委員

★市民と行政をつなぐ役目

官民協働からまちを元気に

少子高齢化が進み人口減少が続く館山市は、税収減も懸念され社会保障関連経費（扶助費など）も年々増加しており、市の財政は非常に厳しい状況にあります。このような現状において、限られた財源で多様な行政ニーズに応えるためには、官民協働の取り組みが必要であると感じています。私達の日々の暮らしを安心して豊かにすること、そのためには市民の皆様が地域課題を主体的に「自分ごと」として捉え、皆で一緒に考える仕組み、そんな場づくりが求められていると思います。

このような時代だからこそ、市民と行政をつなぐ議会や議員の役割は、より重要になってきていると考えます。

そのような思いから、日頃より町内会や青壮年会などの地域活動、花の植栽や伝統文化の継承活動、ビーチクリーンや各種団体の奉仕活動など、多くのボランティア等に参加しています。

直接皆様とふれあう中で現状や課題を肌で感じ、皆で共に解決に向かう官民の真の協働を進め、わがまち館山が、人々が、元気になるよう、一日一日を大切に、これからも努力を続けて参ります。



本澤栄里子

議会運営委員会委員／文教民生委員会副委員長／三芳水道企業団議会議員／都市計画審議会委員／交通対策審議会委員

★次の世代へつなぐ、誇りある館山のかたち



人口減少と少子高齢化が進む館山市では、医療・福祉、子育て、防災、地域経済など多方面で持続可能性が問われています。子どもの学びをしっかり支え、若者世代が安心して未来を描ける環境づくり、子育て世代の負担軽減、高齢者と家族を支える体制づくり、そして災害時に誰一人取り残さない支援の確立に取り組んできました。あわせて、買い物困難な地域を支える移動販売の普及を後押し、日々の暮らしを守る仕組みづくりにも取り組んでいます。

地域のつながりと館山の魅力を守り育て、「ふるさと愛」を次世代へつなぐ人づくりを進めるとともに、館山市民の声を生かした参加の場づくりにも一層力を注いでいきます。誰もが誇りと安心を実感できるまちを実現するため、皆様とともに知恵を重ね、未来を見据えた政策をまっすぐに進めてまいります。

令和7年度
会派活動記録

令和7年11月5日～7日
山梨県研修視察
内容はこちら→



令和7年11月28日
森市長への要望書
内容はこちら→



令和8年1月19日
観光DMOと宿泊税
についての勉強会

令和8年2月5日、6日
熱海市視察研修
内容はこちら→



人との出会いと対話を大切に **新政クラブ** 所属議員の活動をお届けします。